

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	保育所等訪問支援事業所さくらの木		
○保護者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和7年10月1日		～ 令和7年10月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年12月2日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターに単独通園・親子通園があるため、利用児が保育所等訪問支援を利用する際は速やかに情報の共有を行うことができる。	該当児が児童発達支援を利用している際は、日頃より職員間で報告や連絡を行い、情報を共有しつつ保育所等訪問支援での支援ができるようにしている。	児童発達支援と訪問先両方での課題を把握し、分析しつつ支援を進めていく。
2	就学し児童発達支援が終了となった後も、子どもの状態や保護者の希望等の状況に応じて保育所等訪問支援を含めた、様々な対応や支援を検討することができる。	卒園児の保護者等に対し就学後の様子を伺ったり、必要に応じて面談を行ったりしている。	保育所等訪問支援のみならず他事業とも連携を行いながら、該当児に対してより良い形で支援を行うことができる体制を構築していく。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	センター利用者以外の保護者へ情報を発信したり周知したりする機会が少ない。	現在、保育所等訪問支援事業の利用が児童発達支援の利用児や卒園児に留まっている。	現在、ホームページを改修中。必要な情報を掲載したり発信したりできるようにしていく。
2			
3			